

2020年2月14日

各 位

2019年度第3四半期報告



オリックス生命保険株式会社

オリックス生命保険株式会社(本社:東京都港区、社長:片岡 一則)の2019年度第3四半期決算(2019年4月1日～2019年12月31日)を、以下のとおりお知らせします。

1. 契約の状況

◆新契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2017年度 第3四半期		2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
新契約件数	468	98.4%	398	85.2%	370	92.8%
新契約年換算保険料	330	103.9%	291	88.3%	284	97.4%
新契約高	13,572	87.5%	11,339	83.6%	10,907	96.2%

新契約の状況は、4月に発売した「米ドル建終身保険」や10月に発売した「引受基準緩和型保険」の販売が順調だったものの、新契約件数が前年同期比92.8%、新契約年換算保険料が前年同期比97.4%、新契約高が前年同期比96.2%となりました。

◆保有契約(個人保険)の状況

(単位:千件、億円)

	2017年度末		2018年度末		2019年度 第3四半期末	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比
保有契約件数	3,936	112.9%	4,256	108.1%	4,457	104.7%
保有契約年換算保険料	2,455	113.8%	2,755	112.2%	2,905	105.4%
保有契約高	114,142	109.6%	127,271	111.5%	130,841	102.8%

保有契約の状況は、終身保険などの第一分野商品や、「医療保険 新キュア」などの第三分野商品の保有が増加したことから、保有契約件数が前年度末比104.7%、保有契約年換算保険料が前年度末比105.4%、保有契約高が前年度末比102.8%となるなど、順調に伸展しています。

2. トピックス

- 2019年 4月
 - ・「米ドル建終身保険Candle[キャンドル]」を発売
 - ・ショートメッセージ(SMS)による「手続き状況お知らせサービス」を開始
- 2019年 7月
 - ・「健康医療相談サービス」のご利用対象範囲を拡大
- 2019年 10月
 - ・引受基準緩和型の3商品「定期保険ファイン・サポート・プラス」「終身保険ライズ・サポート・プラス」「医療保険キュア・サポート・プラス」を発売
 - ・「相続支援サービス」「入退院安心サービス等(家事代行サービス)」を開始
- 2019年 11月
 - ・UCDAアワード2019で、給付金請求の解説動画と帳票が「情報のわかりやすさ賞」を受賞
 - ・4年連続、「HDI格付けベンチマーク」で最高評価三つ星をダブル受賞
(「問合せ窓口(コールセンター)」「Webサポート(ウェブサイト)」部門)
 - ・申込書類のデータ化業務に「AI-OCR」を導入
 - ・ITの高度活用企業を表彰するIT賞で「IT奨励賞」を受賞

3. 収支・資産等の状況

◆収支・利益・資産

(単位:億円)

	2017年度 第3四半期		2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期		2018年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
保険料等収入	2,220	120.4%	2,367	106.6%	2,737	115.6%	3,352
資産運用収益	786	125.9%	134	17.1%	426	317.0%	183
保険金等支払金	2,353	109.9%	1,773	75.4%	1,705	96.2%	2,555
資産運用費用	34	57.2%	265	767.1%	30	11.4%	60
基礎利益	△ 250	-	△ 181	-	△ 121	-	△ 272
当期純利益	△ 225	-	△ 163	-	△ 86	-	627
総資産	18,835	97.4%	18,468	98.1%	19,729	106.8%	19,032

- ・保険料等収入は、終身保険や医療保険の保有契約が増加したことなどから、前年同期比115.6%の2,737億円となりました。
- ・資産運用収益は、運用環境の改善により特別勘定資産運用益が増えたことなどから、前年同期比 317.0%の426億円となりました。
- ・保険金等支払金は、解約返戻金や年金の支払いが減少したことなどから、前年同期比96.2%の1,705億円となりました。
- ・資産運用費用は、特別勘定資産運用損が無くなったことなどから、前年同期比11.4%の30億円となりました。
- ・基礎利益は、2018年10月の保険料改定等により、前年同期と比べて60億円赤字幅が縮小し、△121億円となりました。
- ・当期純利益は、前年同期と比べて77億円赤字幅が縮小し、△86億円となりました。
- ・総資産は、前年同期比106.8%の1兆9,729億円となりました。

◆米国会計基準(SEC基準)による主要な経営指標

オリックスグループは、米国会計基準(SEC基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかにSEC基準を採用し、経営管理の指標としています。

(単位:億円)

	2017年度 第3四半期		2018年度 第3四半期		2019年度 第3四半期		2018年度
		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
営業収益	2,318	112.4%	2,540	109.6%	2,720	107.1%	3,560
生命保険料等収入	2,158	121.8%	2,337	108.3%	2,553	109.3%	3,317
資産運用収益	160	55.0%	202	126.9%	166	82.1%	243
営業費用	1,941	119.8%	2,120	109.2%	2,289	108.0%	3,036
生命保険費用	1,592	126.0%	1,733	108.9%	1,886	108.8%	2,493
資産運用費用	37	62.4%	43	117.5%	31	71.3%	56
その他費用	312	105.3%	343	109.9%	372	108.4%	487
税引前当期純利益	377	85.2%	420	111.4%	430	102.5%	524
法人税等	104	80.5%	84	80.8%	119	141.9%	111
当期純利益	273	87.1%	336	123.0%	311	92.7%	413
総資産	20,388	97.6%	20,466	100.4%	22,036	107.7%	21,089
保険契約債務	15,239	95.7%	14,890	97.7%	15,736	105.7%	15,208
株主資本 (払込資本金)	3,817 (590)	108.8%	4,188 (590)	109.7%	4,676 (590)	111.6%	4,350 (590)

※SEC基準は、一部のグループ内取引を消去して表示しています。

- ・生命保険料等収入は、保有契約が増加したことなどから、前年同期比109.3%の2,553億円となりました。
- ・資産運用収益は、前期に投資不動産売却益を計上した反動減などから、前年同期比82.1%の166億円となりました。
- ・生命保険費用は、責任準備金積立負担が増加したことなどから、前年同期比108.8%の1,886億円となりました。
- ・資産運用費用は、ヘッジコストが減少したことなどから、前年同期比71.3%の31億円となりました。
- ・税引前当期純利益は、前年同期比102.5%の430億円、当期純利益は同92.7%の311億円となりました。
- ・総資産は、前年同期比107.7%の2兆2,036億円となりました。

(SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについては次のページをご参照ください。)

<SEC基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

1. 新契約の獲得経費

- ・SEC基準では、新契約の獲得経費は、新契約からもたらされる将来の収入に対応すべき部分を、当期に一括計上せず、繰延処理します。
- ・会社法基準では、新契約の獲得経費を当期費用として一括計上します。
- ・新契約の販売が好調な時、SEC基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

2. 責任準備金

- ・SEC基準では、実績発生率を基に計算される責任準備金を積み立てます。
- ・会社法基準では、無配当商品に対しても有配当商品と同じ積み立てを行うなど、一般的に、SEC基準と比べて契約初期の積立負担が大きな標準責任準備金を積み立てます。

3. 再保険取引

- ・当社は保険契約の一部を出再することにより、リスク軽減を図っております。
- ・上記再保険に付したリスクに係る責任準備金について、SEC基準では積み立てておりますが、会社法基準では保険業法に基づき積み立てない場合があります。
そのため、当該部分に係るリスクが減少する場合、SEC基準では責任準備金取崩し益が生じますが、会社法基準では当該益は発生しません。

当社においては主に、上記一時的な差異により、会社法基準はSEC基準より利益が減少する傾向があります。

4. 健全性等の状況

◆ソルベンシー・マージン比率

	2018年度末	2019年度 第3四半期末
ソルベンシー・マージン比率	1,720.8%	1,581.4%

- ・ソルベンシー・マージン比率は、前年度末から139.4ポイント減の1,581.4%となりましたが、引き続き高水準を維持しています。

◆格付け(2020年2月14日現在)

・格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力格付け : AA-

■オリックス株式会社(コード番号:8591)の2020年3月期第3四半期連結決算(2019年4月～2019年12月)

<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/settlement/>

オリックスグループの事業は、法人金融サービス・メンテナンスリース・不動産・事業投資・リテール・海外の6つの独立したセグメントで構成され、オリックス生命はリテール事業部門に位置しています。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>
経営企画部広報チーム 高原・林
TEL : 03-6685-7996

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位 : 件、億円、%)

区 分	2018年度末		2019年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	前年度末比	金 額	前年度末比
個 人 保 険	4,256,042	127,271	4,457,140	104.7	130,841	102.8
個 人 年 金 保 険	124,769	5,357	118,431	94.9	4,788	89.4
団 体 保 険	—	5,665	—	—	5,947	105.0
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

ただし、一時払個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額を計上しています。

・新契約高

(単位 : 件、億円、%)

区 分	2018年度 第3四半期累計期間				2019年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	前年 同期比	金 額			
			新契約	転換による 純増加				前年 同期比	新契約	転換による 純増加
個 人 保 険	398,954	11,339	11,339	—	370,156	92.8	10,907	96.2	10,907	—
個 人 年 金 保 険	—	—	—	—	2	—	0	—	0	—
団 体 保 険	—	0	0	—	—	—	0	93.7	0	—
団 体 年 金 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 一時払個人年金保険の金額は新契約時の基本保険金額です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2018年度末	2019年度 第3四半期 会計期間末	前年度末比
個 人 保 険	275,571	290,552	105.4
個 人 年 金 保 険	57,006	52,535	92.2
合 計	332,578	343,087	103.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	171,847	183,831	107.0

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2018年度 第3四半期 累計期間	2019年度 第3四半期 累計期間	前年同期比
個 人 保 険	29,190	28,431	97.4
個 人 年 金 保 険	—	3	—
合 計	29,190	28,434	97.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	17,694	19,948	112.7

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2018年度末		2019年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	517,916	33.1	300,842	18.2
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	7,380	0.5	6,738	0.4
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	855,721	54.7	1,180,204	71.3
公 社 債	561,565	35.9	819,786	49.6
株 式	117	0.0	118	0.0
外 国 証 券	291,861	18.6	354,661	21.4
公 社 債	290,751	18.6	353,566	21.4
株 式 等	1,109	0.1	1,095	0.1
そ の 他 の 証 券	2,176	0.1	5,637	0.3
貸 付 金	10,219	0.7	16,104	1.0
不 動 産	44,824	2.9	44,031	2.7
繰 延 税 金 資 産	7,875	0.5	7,409	0.4
そ の 他	121,261	7.7	98,829	6.0
貸 倒 引 当 金	△ 52	△ 0.0	△ 51	△ 0.0
合 計	1,565,147	100.0	1,654,108	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	286,092	18.3	363,316	22.0

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	2018年度末					2019年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差 益		差 損			差 益		差 損
満期保有目的の債券	114,577	144,325	29,748	29,748	—	114,469	144,521	30,052	30,052	—
責任準備金対応債券	73,069	75,996	2,927	2,927	—	377,795	382,157	4,362	8,116	3,754
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 有 価 証 券	652,104	664,684	12,580	20,461	7,881	667,801	681,089	13,288	22,491	9,203
公 社 債	375,600	393,918	18,318	19,171	853	337,770	353,700	15,929	16,884	955
株 式	4	14	10	10	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	276,499	270,751	△ 5,747	1,279	7,027	330,025	327,373	△ 2,651	5,595	8,247
公 社 債	276,499	270,751	△ 5,747	1,279	7,027	330,025	327,373	△ 2,651	5,595	8,247
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	839,751	885,007	45,255	53,137	7,881	1,160,065	1,207,768	47,702	60,660	12,957
公 社 債	543,246	590,628	47,381	48,235	853	803,857	849,902	46,044	50,679	4,634
株 式	4	14	10	10	—	4	15	10	10	—
外 国 証 券	296,499	294,363	△ 2,135	4,891	7,027	356,203	357,851	1,647	9,970	8,322
公 社 債	296,499	294,363	△ 2,135	4,891	7,027	356,203	357,851	1,647	9,970	8,322
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	2018年度末	2019年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	97	97
その他の有価証券	3,312	6,772
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	5	5
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他の	3,306	6,767
合 計	3,409	6,870

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

・運用目的の金銭の信託

該当ありません。

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	2018年度末 要約貸借対照表 (2019年3月31日現在)	2019年度 第3四半期会計期間末 (2019年12月31日現在)
	金 額	金 額
(資 産 の 部)		
現 金 及 び 預 貯 金	531,282	312,585
買 入 金 銭 債 権	7,380	6,738
有 価 証 券	1,179,941	1,486,728
(う ち 国 債)	(324,199)	(493,852)
(う ち 地 方 債)	(1,767)	(31,776)
(う ち 社 債)	(235,598)	(294,158)
(う ち 株 式)	(117)	(118)
(う ち 外 国 証 券)	(293,713)	(356,393)
貸 付 金	10,219	16,104
保 険 約 款 貸 付	5,219	5,615
一 般 貸 付	5,000	10,488
有 形 固 定 資 産	46,013	45,292
無 形 固 定 資 産	16,488	17,194
代 理 店 貸 付	52	50
再 保 険 貸 付	59,196	37,229
そ の 他 資 産	44,890	43,658
繰 延 税 金 資 産	7,875	7,409
貸 倒 引 当 金	△ 52	△ 51
資 産 の 部 合 計	1,903,288	1,972,940
(負 債 の 部)		
保 険 契 約 準 備 金	1,637,280	1,719,011
支 払 備 金	27,565	27,629
責 任 準 備 金	1,609,264	1,691,111
契 約 者 配 当 準 備 金	450	269
代 理 店 借 入	6,936	5,644
再 保 険 借 入	47,478	63,017
そ の 他 負 債	43,360	24,646
未 払 法 人 税 等	71	17
そ の 他 の 負 債	43,288	24,628
退 職 給 付 引 当 金	169	323
価 格 変 動 準 備 金	3,639	4,022
負 債 の 部 合 計	1,738,864	1,816,666
(純 資 産 の 部)		
資 本 金	59,000	59,000
資 本 剰 余 金	45,204	45,204
資 本 準 備 金	45,204	45,204
利 益 剰 余 金	51,175	42,527
そ の 他 利 益 剰 余 金	51,175	42,527
繰 越 利 益 剰 余 金	51,175	42,527
株 主 資 本 合 計	155,380	146,731
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	9,043	9,542
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	9,043	9,542
純 資 産 の 部 合 計	164,423	156,274
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,903,288	1,972,940

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	2018年度 第3四半期累計期間 〔 2018年4月1日から 2018年12月31日まで 〕	2019年度 第3四半期累計期間 〔 2019年4月1日から 2019年12月31日まで 〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	252,528	319,568
保 険 料 等 収 入	236,765	273,772
(うち 保 険 料)	(230,611)	(261,226)
資 産 運 用 収 益	13,450	42,634
(うち 利 息 及 び 配 当 金 等 収 入)	(11,802)	(12,567)
(うち 有 価 証 券 売 却 益)	(1,648)	(3,937)
(うち 特 別 勘 定 資 産 運 用 益)	(—)	(25,961)
そ の 他 経 常 収 益	2,312	3,161
経 常 費 用	279,924	330,603
保 険 金 等 支 払 金	177,302	170,529
(うち 保 険 金)	(25,699)	(25,349)
(うち 年 金)	(57,283)	(42,950)
(うち 給 付 金)	(32,423)	(36,402)
(うち 解 約 返 戻 金)	(36,203)	(32,941)
(うち そ の 他 返 戻 金)	(1,563)	(1,569)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	5,514	81,912
支 払 備 金 繰 入 額	—	64
責 任 準 備 金 繰 入 額	5,514	81,847
資 産 運 用 費 用	26,599	3,029
(うち 支 払 利 息)	(3)	(5)
(うち 有 価 証 券 売 却 損)	(215)	(0)
(うち 金 融 派 生 商 品 費 用)	(2,359)	(1,650)
(うち 特 別 勘 定 資 産 運 用 損)	(21,789)	(—)
事 業 費	62,111	64,950
そ の 他 経 常 費 用	8,396	10,182
経 常 損 失	27,395	11,035
特 別 利 益	6,573	—
特 別 損 失	—	—
特 定 資 産 等 処 分 益	6,573	—
特 定 資 産 等 処 分 損	292	436
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	22	53
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	270	383
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	639	330
税 引 前 四 半 期 純 損 失	21,754	11,802
法 人 税 及 び 住 民 税	△ 2,590	△ 3,426
法 人 税 等 調 整 額	△ 2,827	272
法 人 税 等 合 計	△ 5,418	△ 3,153
四 半 期 純 損 失	16,336	8,648

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2019年度第3四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

貸倒引当金の算定方法

貸倒引当金は、次のとおり計上しております。

破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。上記以外の債権については、当上半期末の貸倒実績率を基礎として、合理的な範囲内で調整を加えた貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、13,693百万円であります。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	450百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	511百万円
ハ. 契約者配当準備金繰入額	330百万円
ニ. 当第3四半期会計期間末現在高	269百万円

4. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2019年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は、4,198円34銭であります。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位：百万円)

	2018年度 第3四半期 累計期間	2019年度 第3四半期 累計期間
基 礎 利 益 A	△ 18,108	△ 12,169
キ ャ ピ タ ル 収 益	1,661	4,191
金 銭 の 信 託 運 用 益	—	—
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 益	—	—
有 価 証 券 売 却 益	1,648	3,937
金 融 派 生 商 品 収 益	—	—
為 替 差 益	—	155
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 収 益	12	99
キ ャ ピ タ ル 費 用	3,220	1,650
金 銭 の 信 託 運 用 損	—	—
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損	—	—
有 価 証 券 売 却 損	215	0
有 価 証 券 評 価 損	—	—
金 融 派 生 商 品 費 用	2,359	1,650
為 替 差 損	601	—
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 費 用	45	—
キ ャ ピ タ ル 損 益 B	△ 1,559	2,541
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 19,667	△ 9,628
臨 時 収 益	141	0
再 保 険 収 入	—	—
危 険 準 備 金 戻 入 額	141	—
個 別 貸 倒 引 当 金 戻 入 額	—	0
そ の 他 臨 時 収 益	—	—
臨 時 費 用	7,869	1,407
再 保 険 料	7,868	1,231
危 険 準 備 金 繰 入 額	—	176
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	—
特 定 海 外 債 権 引 当 勘 定 繰 入 額	—	—
貸 付 金 償 却	—	—
そ の 他 臨 時 費 用	—	—
臨 時 損 益 C	△ 7,727	△ 1,407
経 常 利 益 A+B+C	△ 27,395	△ 11,035

(参考)その他項目の内訳

(単位：百万円)

	2018年度 第3四半期 累計期間	2019年度 第3四半期 累計期間
基 礎 利 益	32	△ 99
マーケット・ヴァリュエーション・アシスタメントに係る解約返戻金変動の影響額	△ 12	0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	45	△ 99
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 収 益	12	99
マーケット・ヴァリュエーション・アシスタメントに係る解約返戻金変動の影響額	12	0
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	—	99
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 費 用	45	—
マーケット・ヴァリュエーション・アシスタメントに係る解約返戻金変動の影響額	—	—
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	45	—

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2018年度末	2019年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	356,395	354,917
資本金等	155,380	146,731
価格変動準備金	3,639	4,022
危険準備金	14,782	14,959
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金 (税効果控除前)・繰延ヘッジ損益 (税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	11,304	11,928
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	11,365	11,365
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	140,021	149,378
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び 負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	19,901	16,531
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	41,419	44,885
保険リスク相当額 R ₁	7,266	7,265
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	5,050	5,442
予定利率リスク相当額 R ₂	1,409	1,413
最低保証リスク相当額 R ₇	—	—
資産運用リスク相当額 R ₃	37,070	40,495
経営管理リスク相当額 R ₄	1,015	1,092
ソルベンシー・マージン比率		
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,720.8%	1,581.4%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考)連結ソルベンシー・マージン比率

当社は、子会社であるオリックス保険コンサルティング株式会社との連結ソルベンシー・マージン比率を四半期ごとに作成し開示しています。

(単位：百万円)

項 目	2018年度末	2019年度 第3四半期 連結会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	355,404	353,707
資本金等	155,509	146,566
価格変動準備金	3,639	4,022
危険準備金	14,782	14,959
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	11,304	11,928
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	11,365	11,365
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 1,120	△ 1,045
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	140,021	149,378
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	19,901	16,531
リスクの合計額	41,392	44,857
$\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2 + R_4 + R_6} \quad (B)$		
保険リスク相当額 R1	7,266	7,265
一般保険リスク相当額 R5	—	—
巨大災害リスク相当額 R6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	5,050	5,442
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R9	—	—
予定利率リスク相当額 R2	1,409	1,413
最低保証リスク相当額 R7	—	—
資産運用リスク相当額 R3	37,043	40,467
経営管理リスク相当額 R4	1,015	1,091
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,717.2%	1,577.0%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位:億円)

区 分	2018年度末	2019年度 第3四半期会計期間末
個 人 変 額 保 険	8	8
個 人 変 額 年 金 保 険	3,378	3,186
団 体 年 金 保 険	—	—
特 別 勘 定 計	3,386	3,194

(2) 保有契約高

・個人変額保険

(単位:件、億円)

区 分	2018年度末		2019年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変 額 保 険 (有 期 型)	—	—	—	—
変 額 保 険 (終 身 型)	116	6	108	6
合 計	116	6	108	6

・個人変額年金保険

(単位:件、億円)

区 分	2018年度末		2019年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個 人 変 額 年 金 保 険	44,915	2,790	40,556	2,483

(注) 金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

当第3四半期においては、子会社等が当社と比べて小規模であり、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、連結財務諸表を作成していません。